

12月の経済指標発表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
12/2 7-9月期法人企業統計(8:50) 11月自動車販売(14:00) 11月軽自動車販売(14:00) 黒田日銀総裁挨拶 (米)11月ISM製造業指数 (米)9・10月建設支出 (欧・独・仏・英)11月製造業PMI(確)	3 11月マネタリーベース(8:50) 10月毎月勤労統計(10:30) (米)11月自動車販売 (豪州)金融政策決定会合 (ブラジル)7-9月期GDP	4 (米)ページブック (米)11月ISM非製造業指数 (米)10月貿易収支 (米)9・10月新築住宅販売件数 (欧)7-9月期GDP(確) (欧)10月小売売上高 (欧・独・仏・英)11月サービス業PMI(確) (豪州)7-9月期GDP	5 10年利付国債 (米)10月製造業受注 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合 (韓国)7-9月期GDP(確)	6 10月家計消費状況調査(14:00) 10月景気動向指数(14:00) (米)11月雇用統計 (米)12月ミシガン消費者センチ(速) (米)10月消費者信用残高 (独)10月製造業受注 (仏)10月貿易収支 (メキシコ)金融政策決定会合
9 12月ロイター短観(8:30) 7-9月期GDP2次速報(8:50) 10月国際収支(8:50) 11月貸出・預金動向(8:50) 10月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 11月景気ウォッチャー調査 (独)10月貿易収支 (独)10月鉱工業生産	10 10-12月期法人企業景気予測調査(8:50) 11月マネーストック(8:50) 10月第3次産業活動指数(8:50) 11月消費動向調査(14:00) 30年利付国債 (米)10月卸売在庫 (仏)10月鉱工業生産 (英)10月鉱工業生産 (トルコ)7-9月期GDP	11 10月機械受注統計(8:50) 11月企業物価(8:50) (米)11月財政収支 (独)11月消費者物価(確) (ニュージー)金融政策決定会合	12 10月商業販売統計・確(13:30) 5年利付国債 (米)11月小売売上高 (米)11月輸入物価 (米)10月企業在庫 (欧)10月鉱工業生産 (欧)12月ECB月報 (仏)11月消費者物価 (韓国)金融政策決定会合 (フィリピン)金融政策決定会合 (インドネシア)金融政策決定会合	13 10月鉱工業指数・確(13:30) (米)11月生産者物価
16 12月日銀短観(8:50) (米)12月NY連銀指数 (米)11月鉱工業生産 (欧)10月貿易収支	17 12月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 10月建設総合統計(14:00) ※11月全国百貨店売上高(14:30) 20年利付国債 (米)11月消費者物価 (米)12月NAHB住宅市場指数 (欧)11月消費者物価(確) (独)12月ZEW景況感 (英)11月消費者物価 (豪州)金融政策委員会議事録 (トルコ)金融政策決定会合	18 11月貿易統計(8:50) 10月毎月勤労統計・確(10:30) (米)FOMC (米)11月住宅着工件数 (米)11月建設許可件数 (欧)10月建設支出 (独)12月Ifo景況感指数 (英)11月失業率 (英)金融政策委員会議事録 (ニュージー)7-9月期GDP	19 7-9月期資金循環(8:50) 10月全産業活動指数(13:30) 10月景気動向指数改訂(14:00) 金融政策決定会合(～20日) (米)12月フィア連銀指数 (米)11月中古住宅販売件数 (米)11月景気先行指数 (英)11月小売売上高 (台湾)金融政策決定会合	20 11月コンビニエンスストア統計(16:00) ※11月チェーンストア販売統計(14:00) ※12月月例経済報告 日銀総裁定例記者会見 (米)7-9月期GDP(確) ※(欧・独・仏)12月製造業PMI(速) ※(欧・独・仏)12月サービス業PMI(速) (仏)12月INSEE企業景況感 (英)7-9月期GDP(確)
23 (米)11月個人所得・消費 (米)12月ミシガン消費者センチ(確)	24 12月金融経済月報(14:00) (米)11月耐久財受注 (米)10月FHFA住宅価格指数 (米)11月新築住宅販売件数 (仏)7-9月期GDP(確) (仏)11月消費支出	25 11月企業向けサービス価格指数(8:50) 2年利付国債 ※(ハトナム)10-12月期GDP	26 金融政策決定会合議事要旨(11月20,21日分)(8:50) 11月住宅着工統計(14:00)	27 11月消費者物価・全(8:30) 12月消費者物価・都(8:30) 11月家計調査(8:30) 11月労働力調査(8:30) 11月一般職業紹介状況(8:30) 11月鉱工業指数(8:50) 11月商業販売統計(8:50) 11月投入・産出物価指数(8:50) 11月毎月勤労統計(10:30)
30 ※(英)12月ネーションワイド住宅価格	31 (米)12月CB消費者信頼感指数 (米)10月S&Pケース・シラー住宅価格 (米)12月シカゴPMI	1/1	2 (米)11月建設支出 ※(米)12月ISM製造業景気指数 ※(欧・独・仏・英)12月製造業PMI(確) ※(独)12月消費者物価(速)	3 (米)11月自動車販売 ※(米)12月ISM非製造業指数 (欧)11月M3 ※(欧)12月消費者物価(速) ※(シンガポール)10-12月期GDP(速)

(備考) 各種情報ベンダー等にて作成。※印は期日が未定のもの。各指標の発表時期は変更される可能性があります。

編集後記

2012年11月16日の衆議院解散を境に株高、円安の動きが加速して1年、アベノミクスの3本の矢の力で今度こそ「失われた20年」から新たな時代へ進めるのではないかという期待感を多くの人が胸に抱いている。大きな期待感は逆に乗遅れる恐怖感を生み、かつてないスピードで株高、円安が進んだものの一旦織り込んでしまえば新たな期待、不安といったものが出てこないと簡単には動けないもので5月にピークを付けて以降一進一退の動きを続けている。

本当に日本がデフレから脱却し名実ともにプラス成長をしていくためには「日本再興戦略」はじめここまで議論されてきた多くの戦略、規制緩和を着実に実行していくこと、と多くの識者が指摘している通りだろう。今臨時国会は成長戦略実行国会であり多くの関連法案が審議されている。これまで議論された戦略が具体的な政策としてどう実行されていくのか、法案にどのように落とし込まれているのかと言った点についてしっかり見ていきたいと思う。新たな期待が盛り上がることを願う。(H.S)